

冒険心が飛翔する“100人の戯空間”

〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋2-1-27 周防町ウイングス6F

TEL(06)6211-8427 FAX(06)6211-6312

ウイングフィールド公式サイト URL <http://www.wing-f.co.jp>

**ウイング** フィールド

第9 回むりやり堺筋線演劇祭参加 ウイングフィールド提携公演

作・演出／橋本匡市

**戯劇**

9/29(金) 7:30  
30(土) 3:00  
**「駱駝の骨壺」**

出演／万博設計 料金／一般前売 2,800円 一般当日 3,000円

7:00 U-25 前売 2,500円 U-25 当日 2,800円 (要証明)

10/1(日) 1:00 一般ペア 5,000円 (予約のみ)

5:00 U-25 ペア 4,000円 (予約のみ・要証明)

高校生 500円 (前売・当日共 要学生証)

第9 回むりやり堺筋線演劇祭参加

作／はせひろいち (劇団ジャブジャブサーキット)

**乗劇**

4(水) 7:30◎ 演出／関川佑一 (げきだん S-演 s ?)

5(木) 2:00  
7:00 **「仮説『I』を棄却するマリコ」**

出演／げきだん S-演 s ?

◎ = 終演後アフタートークあり

料金／前売 2,500円 当日 3,000円

複数枚購入割引あり

7(土) 2:00☆ ウイングフィールド提携公演

6:00● 作・演出／わかぎふぶ (リリパットアーミー II)

**熟劇**

8(日) 2:00● **落語 × 演劇 ④芝居 その壱**

6:00☆ **本格的な小型時代劇 「カラサワギ」**

主催・企画制作／玉造小劇店

10(火) 7:00☆ ☆ = 芝居

11(水) 7:00☆ ●落語 = 桂吉弥

12(木) 7:00☆ ○落語 = 笑福亭銀瓶

13(金) 7:00●

14(土) 2:00☆

6:00○

15(日) 2:00☆

料金／整理番号付自由席 前売・当日 4,000円

ご予約、お問い合わせ

TEL : 06-6944-3380

HP : <http://tama-show.jpn.org/>

第9 回むりやり堺筋線演劇祭参加

作・演出／帽子屋・お松

**WINGCUP**

28(土) 1:00  
5:00 **「フラチナム」**

29(日) 1:00  
5:00 出演／0F (ゼロフレーム)

料金／前売 2,500円 当日 3,000円

どこまでいってもエゴなのだ

繁澤 邦明

お盆休み最終日。甲子園中継を見て、シャワーを浴び、外出する。夜はウイングカップ8前夜祭の稽古2日目。稽古は3日間の設定だが、今回は出演者が全員揃わなさそうで、実質の最終稽古。小道具の (!) 前回最優秀賞トロフィーが紙袋に入っている。ほんの少しそのことを気にする自意識と共に、電車に乗り込む。

くだくは書かないが、7月に今の職場に変わった。所謂、転職だ。演劇はこんなにも自分の人生に深く絡みついていたのかと、しみじみ思う。自分の意志、だけれども。

大学に入学した2008年、演劇を始めた。高校の文化祭で劇 (作・演出・出演!) をしたり、劇団四季に連れて行かれたりもしたが、当初はあくまで「サークル選びの候補の一つ」だった。軽音、ワングル、陶芸 etc、それらが他の候補だった。

新歓公演を観て、打ち上げに参加した。作品自体はイマイチ面白味が判らなかった。「エンゲキ」っぽい人や、まあ、可愛い人がいるなあ、と思っていた (余談だが、その人とは後に付き合った。今は別れている。向こうは結婚したらしい)。

その後、胃腸炎になって他のサークルはあまり視かず、そもそもハマらず、軽い気持ちで演劇サークルに入部した。とは言え元々顔も出さず、あまりに気まぐれにフラッと現れた我儘な1回生ボーイを見て、「どうせすぐ辞めると思った」と先輩が後に語った。実際、当初は色々ピンと来ず、いつ辞めようかと思っていた。その先輩は今でもチラシを作ってくれている。…ここまで書いて、字数もあるのになぜこんなにも

「エッセイ宜しく」な文章をしたためているのかと気付きつつ、稽古場最寄りのフレッシュネスバーガーに入る。店内のBGMが明らかに制御不能な様子で音量を上げる。稽古開始は2時間後。まあ、とりあえず書こうと思う。BGMは何度かの暴走の末、落ち着きを見せる。

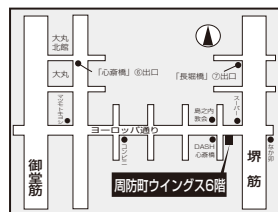
演劇、あるいは「うんなま」をこれまで続けてきて、自覚せざるを得なかったことがある。僕の創作／表現欲求は、相当な「エゴ」のもと成り立っている、ということだ。

うんなまメンバーに報酬なんて払っていないし、よしんばプライスレスな時間としても、例えば「気心知れた仲間との飲みや旅行」「好みの方々のアレコレ」「より明確な社会貢献、自己実現」等々と比してどうか?と考えないわけにはいかない。そもそもライフイベントがある。悠長なこと言っている場合か? 出来上がるものは誰にとって価値がある? 発散、放出したいがためなんて、そんなあまりにも「オトコノコ」的で許されるのか?

…とは言いつつも、僕は僕の「エゴ」を何とか守ってやらねばと素直に思っている。結局のところ、今まで僕を突き動かし、沢山の出会いやかけがえのない瞬間を与えてくれたのは間違いなくこの「エゴ」だからだ。僕はこの「エゴ」のため、この「エゴ」でもって、他や外と繋がっていくのだろう (エゴエゴうるさくてスママセン)。

ならば、その結果として何が起るのだろうか? 何か起こすことはできるのだろうか? …しかしながらも、ましてや衰弱している場合ではない、のだ。稽古や本番は待っているし、紙袋の中には小さいながらも、きちんと「トロフィー」が鎮座ましましているのだから。

(うんなま 代表、浄土宗 應典院 スタッフ)



次代を担う表現活動を、微力ながら支援します。  
す おう まち  
**周防町ウイングス**